

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

## ②施設・事業所情報

|                                       |                                           |
|---------------------------------------|-------------------------------------------|
| 名称：にじいろ保育園東戸塚                         | 種別：保育所                                    |
| 代表者氏名：園長 今井美保                         | 定員（利用人数）： 60名                             |
| 所在地：〒244-0805 横浜市戸塚区川上町85-1 N&Fビル2 1階 |                                           |
| TEL：045-308-1144                      | ホームページ：https://www.like-kn.co.jp/         |
| 【施設・事業所の概要】                           |                                           |
| 開設年月日：2006年4月1日                       |                                           |
| 経営法人・設置主体（法人名等）：ライクアカデミー株式会社          |                                           |
| 職員数                                   | 常勤職員： 11名 非常勤職員 12名                       |
| 専門職員                                  | 保育士 16名 栄養士 4名                            |
|                                       | 看護師 1名 調理師 1名                             |
|                                       | 事務 1名                                     |
| 施設・設備<br>の概要                          | （居室数）                                     |
|                                       | （設備等）                                     |
|                                       | ほふく室のある乳児室と幼児室、事務所、厨房、休憩室を備えたロッカールーム      |
|                                       | 東戸塚駅西口より徒歩3分。N&Fビル2の1階に位置し、園庭には砂場が設けられている |

## ③理念・基本方針

こども本人を尊重した「のびやかに育てだいの芽」との理念を掲げています。  
 こどもの人権や主体性を尊重し、「温かいまなざしに見守られ、見つめられ、心地良く安定した心」「共感し合い喜びと自信を持ってたくましく生きていける心」との保育方針を大切に、陽だまりのような保育園・地域とともに育つ保育園・こどもと共に輝いていける保育園を目指しています。  
 園の特徴であるオープンスペースの園舎で、全職員の温かいまなざしが全園児に届くよう、クラスの垣根を越えて共感しあい、喜びと自信を持ってたくましく生きていける心の成長を皆で見守っていく雰囲気、自然と生まれています。

## ④施設・事業所の特徴的な取組

ワンフロアの園舎で、他クラスの様子やこども達の笑い声を聞き合いながら、全職員が全クラスの担任のようにこども達と生活しています。聞こえてくるピアノに合わせて口ずさんだり、隣のクラスのお友達や職員に、苦手な食材が口にできるような応援してもらったり、静かな活動を邪魔しないよう小さな声で絵本を読んだり、にじいろ保育園東戸塚のこども達は「相手の気持ちを考える」ことがとても上手です。  
 職員間では、活動の合間に散歩の行先を相談したり、トイレが成功した子がいるとみんなが歓声をあげたり、食器を落としてしまった音が聞こえると速やかに役割分担がされ、瞬時に皆が助け合う姿が見られます。

毎食、給食職員が全クラスを巡回し、担任と喫食状況について細かく意見交換をしています。給食職員が年長クラスにて行う「献立会議」があり、三大栄養素を用いたメニューの作成を行っています。

異年齢活動を積極的に行っており、朝夕の交流、日々の散歩、行事に向けた取り組みなど意識的に取り入れています。

また、園庭の砂場を活用して夏場には毎週のようにどろんこ遊びを行い、テラスでは夏野菜や稲、球根などの栽培を楽しんでいます。

玄関には「絵本コーナー」が設けられ、日中の読み聞かせに加え、毎日「絵本の貸出」を実施しており、送迎時の親子のふれあい時間に繋がっています。

家庭とは、連絡ツール「ナナポケ」で、文字や写真をつかってこどもの様子を伝え合っています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

|               |                                         |
|---------------|-----------------------------------------|
| 評価実施期間        | 2021年5月28日（契約日）～<br>2022年3月11日（評価結果確定日） |
| 受審回数(前回の受審時期) | 1回（平成28年度）                              |

#### ⑥総評

##### ◇特に評価の高い点

##### 異年齢交流保育を積極的に行っている

朝夕の合同保育時間だけでなく、日中の保育においても一緒に散歩に出掛けたり、行事に向けた取り組みを見せ合ったりと、クラスを越えた交流を盛んに行い、交流を深めている。昼寝あけに年下クラスのお友だちを起こしてトイレに促してくれたり、散歩に行く前に上着のファスナーを手伝ってくれたり、園全体が大きな家族のように過ごすことができおり、アットホームな様子がうかがえる。

##### 食育に力を入れて取り組んでいる

「クッキング」「献立会議」「栽培」「三色ボード当番活動」など、給食職員が企画している活動が多くあり、各クラス担任と年齢に応じた取り組みができるよう細やかに計画されている。乳児クラス向けには野菜の皮むき、栄養のおはなしを実施し、幼児クラスでは「芋ほり遠足後のおいもピザ献立」など年齢に見合った食育が実施されている。年長クラスでは、三色ボードに則った「こんだて会議」を実施して、子ども達が主体となって実際の1食分の献立をたてる取り組みも行われている。

##### 職員は連携し、働きやすく楽しい職場環境の下で保育を行っている

園には経験豊富な職員が多く、日々の保育計画や行事の企画など、職員同士で声を掛け合いながら企画運営を行っている。リーダー格の職員が声をかけあってその日の職員体制を調整したり、遠足の日程を確認し合う姿が頻繁に見られ、経験の浅い職員の力量を見極めながら議事録のフォローをする等、園内はとても働きやすく、風通しの良い職場環境が出来ている。職員同士の互いを優しく思いやる姿が子ども達にも伝わっていることがうかがえる。事業計画や保育計画の策定や園運営に関する事項は、園長を中心に主任、リーダー格の意見を集約し作成できるように役割を明確にしている。現在、園では職員間の連携良く、良い保育環境の中で保育を行っている。

◇改善を求められる点

子どもにわかりやすい言葉や表現方法については継続的な取り組みとしている

日々の保育においては、子どもの気持ちに寄り添うことを大切にしており、年齢に応じてわかりやすい言葉や表現を用いることや、丁寧な対応、声の大きさなどについては継続的な取り組みとしている。保育者自身がおだやかな気持ちでいること、せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないよう心がけることを課題としている。

園長は、職員一人ひとりの経験や習熟度に応じた育成に取り組んでいる

経験年数や習熟度に合わせて保育所保育指針を読み解くことや、日々移り行く情勢を理解しながら個々の知識を高めていく事で、丁寧な自己評価に繋がると考えられるが、現時点においては、職員によるより丁寧な保育の自己評価が課題である。また、長期計画に沿った単期計画の立案など基礎基本の理解不足も課題である。にじいろ保育ガイドには、「職員の質向上・自己評価」が記載され、自己研鑽や自己評価を示し、「保育者ナビ」等にはにじいろ保育の在り方を明文化している。「成長支援シート」（職員の自己評価表）は、職員各々が自己目標を設定し、園長との定期的な個人面談を経て目標達成への振り返りが出来る仕組みである。園長は今年度7月に「職員育成研修計画」の見直しを行い、経験年数や習熟度に応じた計画を策定し職員育成に取り組んでいる。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、5年ぶりに評価を受審するにあたり、前回の評価結果を見直す作業から始めました。前回の受審で抽出された園の課題や取り組み内容と、現在の園の状況を照らし合わせ、改善された点や新たに浮かび上がった課題を確認しながら自己評価シートの作成にあたりました。一つひとつの取り組みや工夫を細やかに明文化することで、改めて、職員の頑張りが見えてきました。

今回の結果をもとに、ここから新たな「にじいろ保育園東戸塚」の歴史を刻めるよう、保護者の皆さまや地域の皆さまとともに、こども達に寄り添っていけたらと思います。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり